



字との出会い、本との出会い

瀬水 澄夫

私はいつどのようにして字を覚えたのだろうか。そして本を読んで面白いと思ったのはいつごろでそれはどんな本だったのだろうか。

先ず「字との出会い」の手がかりとして、本棚の奥から昭和二九年小学校四年で使った国語の教科書<新しい国語 四年 下(柳田國男 編)>を取り出してみた。巻末に<いままでに出たかんじ>として、一年で一三三五六七八九十土山大小目上手中人木下子正月日先生見立白耳入石犬の34字、二年で89字、三年で188字、四年で240字とある。四年生終了までで551字習ったことになる。いわゆる当用漢字だが、昭和23年文部省当用漢字公布は881字、現在は1006字である。小学校までで1006字覚えるのは結構多いと感じた。

では読んで面白かったと思った最初の本は何だったろう。思い浮かぶのは「紅はこべ」と「ピーターパン」だ。1ページに挿絵と文章が半々くらいだったから、3、4年生ころか。タイトル以外内容は憶えていない。今これこれの内容だと言われても思い出せない。

次が「快傑黒頭巾」。昭和十年、雑誌少年倶楽部に連載され戦後少年クラブで復刻連載された。5年生ころだったろう。大友柳太朗主演の映画も見た。

このあと中学・高校では読書らしい読書はしなかった。二十歳頃たまたま手にした山本周五郎の「赤ひげ診療譚」がきっかけでまた本を読み始めた。山本周五郎のほかには阿川弘之、庄野潤三、平岩弓枝、藤沢周平、池波正太郎など。

ほかには幕末の歴史に関するものはいまよく読む。郷里長岡藩の河井継之助と徳川慶喜は特に興味がある。また幕末から明治にかけての外国人による日本見聞録も好きだ。緻密な調査に基づくドキュメンタリーもいい。驚きの事実を知って心地よい興奮を覚える。通勤電車読書もあった。西村京太郎、佐伯泰英、内田康夫、山村美紗ほかに感謝感謝だ。74年生きて来て<本は長い友達>だ。

訃報

会報の表紙題字を書いて下さった萩本成美さんが、7月9日にご逝去されました。表紙題字は創刊よりずっと使わせていただいています。ご冥福を心よりお祈りいたします。



座間図書館ボランティア友の会 会員募集

毎週水曜日の午前中に活動しています。(但し、館内整理のある第1週水曜日を除きます)

友の会の活動に興味のある方は、いつでも気軽に参加や体験ができます。一緒にボランティアを楽しみませんか。

29年度の活動

- 29年 4/5 友の会総会
- 4/12 第1回図書館活用講座「八王子滝山城」
- 4/28 小学校の図書館見学会内(座間小、相模野小)に協力
- 5/17 " (旭小) "
- 5月 友の会だよりNo.48号発行
- 6/7,8 特別館内整理に協力
- 6/14 第2回図書館活用講座
- 9/2,3 ワンスモアブックスフェア開催
- 9/13 第3回図書館活用講座「夏休み情報交換会」
- 10/18 座間市調べ学習コンクール審査に協力
- 10/25 大和市立図書館見学会
- 10月 友の会だよりNo.49号発行

上記の活動以外に

- *毎月第1金曜日の館内整理日に協力
- *毎週水曜日(午前中)定期的に活動



表紙イラスト：関川麻里さん
表紙題字：萩本成美さん

◆活動に興味のある方は、下記の連絡先にお問い合わせください。
連絡先

- ◇座間図書館ボランティア友の会
会長 遠藤 TEL046(256)2264
- ◇座間市立図書館
葉山、櫻井 TEL046(255)1211

編集・発行

座間図書館ボランティア友の会事務局
2017(平成29)年10月

聖 門 図 書 館

ボランティア

友の会
だより

第49号



座間図書館ボランティア友の会

自然と親しむ講座「八王子滝山城を歩く」

四月十二日(水) 自然と触れ合う・図書館活用講座で、八王子市の滝山城跡を十二人で歩きました。

当日は穏やかな晴れ。満開の桜を贅沢に楽しみました。滝山城は“後北条”第四代当主・氏政の弟、氏照が整備したもので、今は東京都の公園になっています。武蔵野の面影が残る芽吹き始めた雑木林の中を、土塁や空堀、曲輪などを確かめながら散策しました。本丸跡では多摩川の地形を地図と比べ、高低差70メートルの地形の巧みな利用を確かめました。

そして、いよいよ五千本の桜のエリアへ。やわらかな日差しをのびのびと広場で、お花見をしながらお弁当やおしゃべりの時間を過ごしました。

解散の後は、高月城までさらに歩いたグループ、バスを途中下車して「道の駅」に寄ったグループ、それぞれ自由行動で“大人の遠足”の一日となりました。(報告:橋川理恵子さん)

滝山城スケジュール

日時	2017年4月12日(水曜日)	8:30~13:30
案内	会員橋川理恵子さん	参加者12名
集合	JR横浜線町田駅改札口	AM8:30
交通	町田8:37発→八王子9:03着	
バス	八王子@番乗り場西東京バス9:25発→滝山城址下入口下車(帰り) 滝山城址下入口バス停→JR八王子駅	
ルート	バス停→すぐに城址入口→ゆるい坂を5分登る→公園として整備されている城址を見ながら散策→昼食→昼食後自由解散→バス停に戻る→道の駅「八王子滝山」※自由参加→JR八王子駅	



(見どころ) 滝山城の北側は、多摩川の急峻な崖を利用した天然の要塞になっている。この城は、丘陵地を巧みに区画して石垣を作らずに土塁と空堀によって構成されている。主な城主は北条氏照。

小学校図書館見学案内のお手伝い

4月28日(金) 座間市立座間小(4クラス134名)
相模野小(4クラス120名)

5月17日(水) 座間市立旭小(3クラス86名)

<見学で伝えること>

- 一図書館って何をするといい？ 図書館の大切な役割—
- その1. 図書館は本を借りるところ、返すところです。
- その2. 調べものができることです。
- その3. 本をとっておくところです。



ボランティア友の会に入会して初めて小学校の見学案内のお手伝いをさせていただきました。旭小は3クラスだったので3コースに分かれ、それぞれ図書館職員の方の説明を聞きながら見学していました。見学時間が30分と短い上に見学内容が多いので大変だったと思います。でもふだんは入れない参考図書室や貴重書庫、地下書庫などを見学し、本の多さにびっくりしたのではないのでしょうか。自分たちがふだん利用している図書館では、見えないところでも たくさんの本を保管・整理し、いろいろな人が働いていることに気が付いてくれればいいなと思いました。(友田)

29年度友の会図書館活用講座第2回 「尾崎放哉ってどんな人」「美空ひばり子供時代のエピソード」

実施日 2017年6月14日(水) 参加者13名

発表者 加藤洋子さん 瀬水澄夫さん

加藤さんのお話から皆さんの感想をみると「尾崎放哉」のことを初めて知った人、自由律という俳句について「こんなに自由に俳句をつくっていいのだろうか」という感想を持った人もいた。

五七五の型や季語をいれる…という俳句もあれば、自分の心の叫びをそのまま句にする自由律という俳句があることも知った。自由律の俳人には種田山頭火もいる。その作品には「分け入っても分け入っても青い山」という有名な句がある。放哉も山頭火も、型にはまらない人生を生きながら生まれた句なのだろうか。

「美空ひばり」は瀬水さんからのお話で、日本人なら知らない人はいないくらい昭和を代表する歌手であるが、小さい頃から大人の社会の中で歌い続け栄光の陰にあった苦労を私には知らない。52歳という若さで逝った短い人生にしては、残されたものはとても大きく。

加藤さんは昨夏の発表に手を加えて、瀬水さんは、誰でも知っている「ひばり」をもう一步深くみつけていたと思う。「活用講座」発表の常連のお二人、楽しく勉強になったひと時でした。



図書館特別館内整理に参加

座間市立図書館の特別館内整理期間(6月7日~15日)

いつもの活動場所である地下室から地上へと出てきたような気分になって、書架に囲まれた図書館内整理の初仕事が始まりました。

読み聞かせボランティアグループ、友の会のお仲間、職員の方々みなさんと書架に並ぶ蔵書が正しくアイウエオ順になっているのか一冊一冊目で追っていきます。特に難しい内容というわけではないのですがひょんと小さなカタカナ文字を読み間違えていたり、下段の方は腰を曲げた姿勢が続いたり、慣れないこともあって集中を切らさず根気よく続けたいと間違えるように思えました。中休みを挟み午後の後半は、ペンリーダーを使い本のバーコードをこれまた一冊一冊ピピピとなぞっていきます。音が出なかったり、かと思うと繰り返し鳴ったり、どきどきしているうちに気が付くともうお昼に。

スムーズな作業からは程遠く、ささやかですが役に立ったという満足感いっぱいでお家に着きました。(片山)

ワンスモアブックスフェア結果報告

図書館から無料譲渡されたリサイクル本を、ワンスモアブックスフェアとして年2回(3月と9月)開催しています。

期間	平成29年9月2日(土)・3日(日)
場所	座間市立図書館 2階 講座室
主催	座間図書館ボランティア友の会

準備したリサイクル本	7,786冊
販売冊数	4,509冊
販売金額(1冊10円)	45,090円
経費(テープ類、ポスターコピー代)	1,776円
ワンスモアブックス積立金へ	43,314円



※ 29年度ワンスモアブックス積立金 残高 162,170円

29年度友の会図書館活用講座 第3回 夏休み情報交換会

実施日 2017年9月13日(水) 参加者15名

友の会は、例年8月は夏休みです。休みに作った作品や体験を9月に発表しました。作品を簡単に紹介します。

- ・「宮が瀬ダムについて」…観光ダム全国1位と言う事を知りその魅力を探った。定期的な観光放流を行っている。
- ・「山へ! to the mountains 展」…世田谷文学館で企画展を見た。
- ・「あんなこと。こんなこと。心の中に…」…溜めこんであった切り抜きを整理して手作りの冊子にまとめた。
- ・「自己紹介と私の好きな本」…友の会に入会したので自己紹介と好きな本を表にまとめた。
- ・「花の日(8月7日)に車山高原をハイキング」…写真作品で報告。高原の花々や広大な草原に感激した。
- ・「葉作り…使用済み切手で葉を作った。絵柄は豊富で形も円形、ハート形、着物の形など面白い形の切手がある。
- ・「北海道道東ちょこっと旅」…5月にニュージーランドから帰省した息子夫婦と次男と旅したことを折本にまとめた。
- ・「謎のアジア納豆」…『謎のアジア納豆』(高野秀行著新潮社)を読み、日本以外の国も納豆を食べることを知った。
- ・「フランス旅行」…娘が2年前に研修旅行でパリに行くはずがテロのため中止。今回9月に親子3人でリベンジした。
- ・「ぶらり参詣(日向薬師)平成の大修理」…6月に新聞で日向薬師の記事を読み、この夏にぶらり参詣してみた。
- ・「司馬遼太郎の本を読み直したこと」…歴史家・磯田道史の『司馬遼太郎』で学ぶ日本史』を読んだことがきっかけ。
- ・「調べ学習発表会報告」…夏休みの図書館行事に協力した報告。
- ・読後感想『アメリカ合衆国衰亡論・序説』中西輝政著…アメリカ社会のキリスト教についての記述があり興味を持った。